

「わたしたちの生活と政治」

指導目標	◎地方公共団体（京都市）の政治の働きに関心をもち、国民（京都市民）生活には地方公共団体の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることがわかるとともに、政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。
公共交通を教材とする利点	自分たちの普段の生活との関わりが理解しやすい四条通の歩道拡幅工事を題材とすることで、市の進めるまちづくりや事業と自分たちの生活との関わりを、深く理解することができる。
対象学年	6年生
対応教科	社会科
標準校時	6コマ
学習構成	<p>1. 市の行政はどのようなことをしているのだろうか</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から多くの要望が行政に出され、行政は必要性を判断し、工事などを行っている。そのひとつとして、四条通では多くの税金を使って、歩道が広げられ車道が狭められる工事が行われていることを知る。 <p>2. 四条通の歩道拡幅工事について考える</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道拡幅工事をする前の四条通は、駐停車車両が多く、歩道が狭く、歩行者には不便な状況であったことを知る。 ・「心地よく歩ける四条通」実現に向けた要望書が出されて、市民と行政が話し合い、歩道拡幅工事が決まったことを知る。 ・歩道拡幅工事をした後の、四条通がどのように変わったのかを考える。 <p>3. 多くの税金を使い、四条通の歩道拡幅工事を行ったのはなぜだろう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四条通周辺の通りの写真や、京都市のまちづくりへの取組年表から、歩く人中心の京都らしいまちづくりを進めていて、歩道拡幅工事はその一つとして行われたことに気付く。 <p>4. 市の進めるまちづくりの取組は、わたしたちの生活とどのようなかわりがあるのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は、市民の願いを取り入れながら、市民と一体となって、人が主役の魅力あるまちづくりを進めており、そのようなまちづくりは、市民の生活が良くなることにもつながることに気づく。 ・自分たちも市民の一員として、協力できることをすすんでやっていきたいと考える。

【学習指導案】

社会科学習指導案

指導者 松村 一也

- 1 日 時 平成 29 年 1 月 27 日 (金) 第 6 校時 (14:50~15:35)
- 2 学年・組 第 6 学年 1 組 (40 名)
- 3 場 所 6 年 1 組 A 教室
- 4 単 元 名 わたしたちの生活と政治「京都のまちづくりを進める政治とわたしたち」
- 5 単元の目標
地方公共団体(京都市)の政治の働きに関心をもち、国民(京都市民)生活には地方公共団体の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることが分かるとともに、政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとする。
- 6 単元の評価規準
【社会的事象への関心・意欲・態度】
 - ①京都市のまちづくりを進める事業など、地方公共団体の政治の働きに関心をもち、意欲的に調べようとしている。
 - ②京都市のまちづくりを進める地方公共団体の政治の働きと、京都市民の生活とのかかわりを考えようとしている。
【社会的な思考・判断・表現】
 - ①京都市のまちづくりを進める事業など、地方公共団体の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。
 - ②地方公共団体の政治が、国民生活の安定と向上を図るために重要な働きをしていることについて考え、適切に表現している。
【観察・資料活用の技能】
 - ①京都市のまちづくりを進める地方公共団体の政治の働きについて、四条通の歩道拡幅工事の様子や市議会などを、資料を活用して、必要な情報を集め、読み取っている。
【社会的事象についての知識・理解】
 - ①京都市市民の生活には、地方公共団体の政治が反映していることを理解している。
 - ②京都市のまちづくりを進める政治は、京都市民の生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。

③児童の思考によりそう単元構想

単元構想図

わたしたちの生活と政治「京都のまちづくりを進める政治とわたしたち」（全6時間）

事前学習	行政相談の出前授業（5年生時）	租税教室の出前授業（1月12日）
	校区の中で改善してほしい場所などの要望を行政相談員に提出し、回答をいただく。	税理士の方から、税金の意味や納税の義務、税金の使途などを講義していただく。

①京都市の行政はどのようなことをしているのだろうか

であう・つかむ (1時間)	5年生の時の行政相談 ・わたしたちが出した要望に回答してくれている ・叶えられている要望はほとんどない ・本当に必要なかを考えて判断している	岩倉3学区 要望・回答 ・岩倉地域の人達も多くの要望を行政に出している ・何年も要望し続けているものもある ・必要性を考えて工事などを行い、要望を実現している
	四条通の拡幅工事 ・29億円もの税金を使って行われている ・四条通の歩道が広がって車道が減少している ・多くの費用を使って四条通の歩道を広くする工事は、どのようにして決まったのだろうか ・こんなに多くの費用も使って、四条通の歩道を広くすることでよいことがあるのだろうか	
	四条通の歩道拡幅工事はどのようにして決まり、何のために行われたのだろうか	

四条通の歩道が狭くて困る人からの要望があったと思う②	京都市の行政の人達で話し合っ必要と判断したと思う③	四条通を広げることで、観光客や買い物に行く人が安全になるのではないかと④⑤
----------------------------	---------------------------	---------------------------------------

②歩道拡幅工事をする前の四条通はどのような様子だったのだろうか

③四条通の歩道拡幅工事はどのようにして決まっていたのだろうか

④歩道拡幅工事をした後の四条通は、どのように変わったのだろうか

調べる (4時間)	・車道は駐停車両が多く、大多数の車両が中央車線を走行 ・歩道は幅が狭くバス待ちの客と歩行者が交錯する状況 ・バス停が分散していて分かりづらくバスを利用しにくい ・「心地よく歩ける四条通」実現に向けた要望書が出された ○歩行者にとっては不便な状況になっていると思うが、29億円も使う工事が本当に必要なのだろうか⑥	・要望書が提出された後、市民と行政の人が一緒に話し合う場が設定された ・実験も行われた ・市議会でも工事に使うお金などが決められた ・要望書が提出されてから10年ぐらいたって完成した ○行政と市民が話し合う時間を長くつくったのは、工事が本当に必要かどうかを考えるのに大切なことだ	・歩行者がゆったりと歩ける ・バス停が分かりやすくなり、バスを利用しやすくなった ・車線が減った分はアクセススペースなどで対策ができています ・四条通の歩行者も工事前に比べると増えている ○工事によって四条通を歩く人にとっては良いことが増えてきている ○工事中に渋滞も起こったみたいだが、29億円もかけてしなければならなかったのだろうか⑥
	○29億円もお金を使ってまで、京都市の行政が四条通の歩道拡幅工事を行ったのは、なぜだろうか		
	四条通周辺の通りの写真 ・四条通周辺の小さな通りにも観光客がいて、京都らしい風景がある ・京都らしい町を維持するためには、歩く方がいいと思う	京都市のまちづくりへの取組年表 ・要望書が提出される前から、歩くことが楽しくなるまちづくりを進めたり、そのずっと前から多くのきまりをつくってきたりした	岩倉北校区にある風致地区の看板 ・京都市は自然や京都らしい町並みを、京都市のいろいろなところで守ろうとしている ・岩倉北校区もそのひとつだ

○歩道拡幅工事は、歩く人中心の京都らしいまちづくりを進めるための一つとして行われた
 ○歩くことは、わたしたちにもできそうなことなので、京都市のまちづくりに協力していきたい
 ○京都のまちづくりを進めている京都市の取組には、賛成できると思うし、これからも続けてほしい

▼

⑥京都市の進めるまちづくりの取組は、わたしたちの生活とどのようなかわりがあるのだろうか

- ・四条通の歩道拡幅工事のほかに、様々なまちづくりの取組が行われている。
- ・文化庁が京都に移転するのだから、京都の文化や歴史を大切にしていける必要があると思う。
- ・京都の文化や歴史を守り、京都らしいまちづくりを進めていくことで、京都にも活気が生まれ、わたしたちの生活も豊かになっていく。
- ・これからも京都市のまちづくりについて考え、わたしたちにできることを考えていくことが大切だと思う。

京都市の行政は、京都市民の願いを取り入れながら、市民と一体となって、人が主役の魅力ある京都のまちづくりを進めている。そのようなまちづくりを進めていくことは、わたしたち京都市民の生活がよくなっていくことにもつながる。わたしたちも、京都市民の一員として、協力できることをすすんでやっていきたい。

まとめる (1時間)

【板書計画】

29億円のお金を使ってまで、京都市が四条通の歩道を広げる工事を行ったのは、なぜなのだろう

<p>予想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四条通に賑わいを 四条通をゆっくり歩ける ・歩行者の安全を守る ぶつからないように 車道に出ないように ・公共交通を使いやすく バス停の整備 	<p>四条通周辺の様子</p> <p>錦市場 京都らしい 買い物・観光客が多い 自動車→危険 →減らした方がよい</p>	<p>京都市のまちづくり の取組</p> <p>まちづくりのきまり 看板の色 建物の高さ 岩倉北校区も風致地区 まちづくりを進める</p>	<p>都市計画局歩くまち京都推進 室の方のお話</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------

自動車中心→歩くこと中心・人が主役
京都の伝統・文化を守る
京都のまちの魅力を守る
これからの京都のまちづくり

クルマー→歩くこと中心
人が主役
歩くまち京都憲章
京都グランドビジョン

